



多治見市出身の3人が「ライブ」

歌・絵・書共演 寺に芸術の秋

多治見市虎溪山町の虎溪山徳林院の野外ステージで、「お寺ライブ・灯明」が開かれ、同市出身の歌手と画家、文字職人の3人によるショーが満月の夜に繰り広げられた。(高木俊徳)

歌声に合わせ描き上げる

出演したのは、シンガーソングライター佐藤梓さん(28)、画家木全靖隆さん(38)、文字職人杉浦誠司さん(39)。3人は同市を拠点に精力的に活動が続けている。

お寺ライブは今年で3回目、3人によるコラボステージは初めて。また、会場には同市出身のエッグアーティスト林富子さんの「灯りアート」も飾られた。

佐藤さんの童謡「ふるさと」で幕を開け、地元東濃信用金庫のテーマソング「笑顔の花」などオリジナル曲を中

心に13曲を披露。透き通った優しい歌声が境内に響き渡る中、杉浦さんが平仮名で「てらすみらい」を組み合わせた文字「灯明」を描き、木全さんは卵形に用意されたキヤンパスに筆とほけを駆使し、墨の濃淡でダイナミックに「龍」を描き上げた。最後に杉浦さんが文字を書き込んで合作が完成した。

会場に詰め掛けた約350人の市民らは名月の下、繰り広げられたライブショーとパフォーマンスを楽しみ、幻想的な世界に酔いしれた。

大勢の市民らが詰め掛け、繰り広げられた「お寺ライブ・灯明」。多治見市虎溪山町、虎溪山徳林院